

# 2022年6月24日リリース Mist 新機能のご紹介

ジュニパーネットワークス株式会社

JUNIPER   
driven by Mist AI

# はじめに

- ❖ 本ドキュメントは以下のリリースノートを抄訳したものです

<https://www.mist.com/documentation/June-24th-2022-updates/>

- ❖ 本ドキュメントは2022年6月時点のMist cloudのGUIを使用しております
- ❖ 実際の画面と表示が異なる場合がございます
- ❖ 内容について不明な点、ご質問等ございましたら担当営業までお問い合わせください

# 本リリースで追加された機能一覧

## Simplified Operation

- GLOBALリージョンのデフォルトの変更
- APリスト表示機能の拡張

## Wired/WAN Assurance

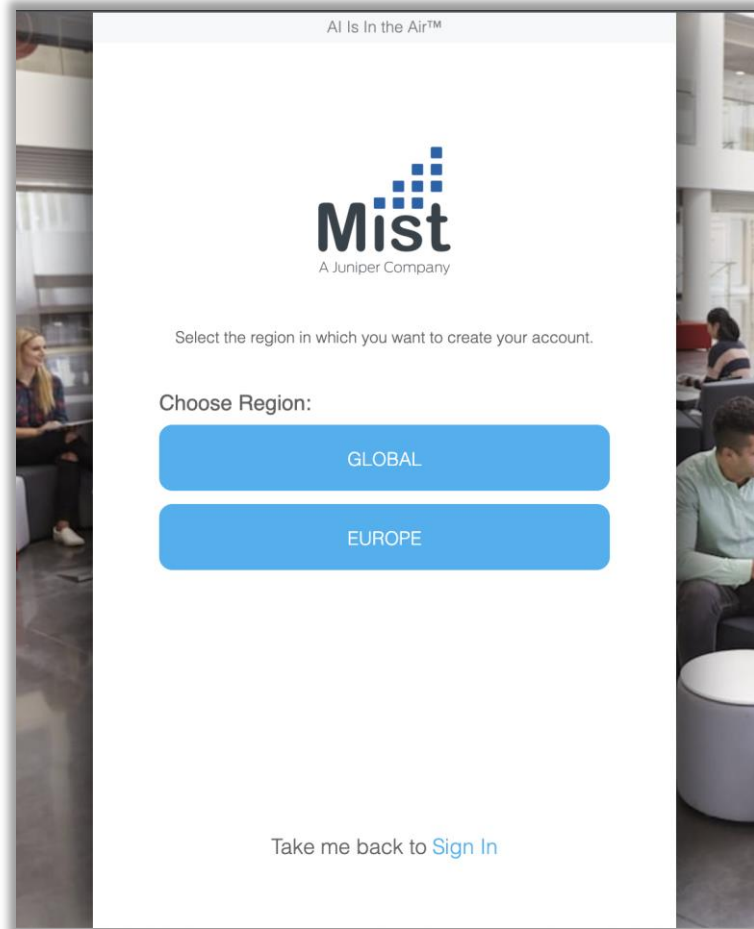
- Radiusサーバへの通信の送信元アドレスの指定
- 組織レベルのネットワークトポロジ表示(SSRのみ)[ベータ版]
- WAN Edgeのログの送信

## Mist Edge

- WLAN RadSecアイドルタイムアウト
- Radsec proxy構成時のRadiusパケット送信元アドレスの指定

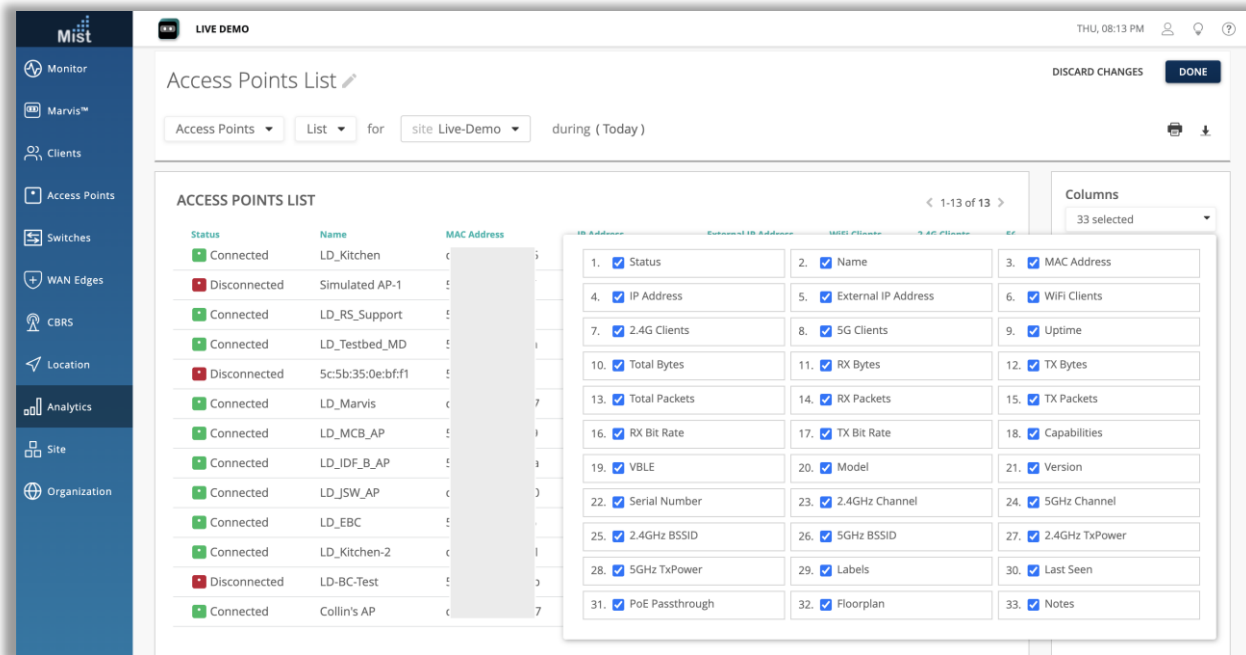
# Simplified Operation

# GLOBALリージョンのデフォルトの変更



- <https://manage.mist.com>から新しいアカウントを作成し、GLOBALリージョンを選択すると、アカウントはデフォルトでGlobal01ではなくGlobal03環境で作成されるようになります
- アカウントを作成し、Global 01リージョンにすでに存在する組織にアクセスしようとする場合は、既存の管理者から組織に招待するか、次のリンクに直接アクセスして、アカウントを作成する必要があります：  
<https://manage.mist.com/signin.html>
- 各リージョンのエンドポイント情報は以下のページを参照してください：  
<https://www.mist.com/documentation/ports-enable-firewall/>

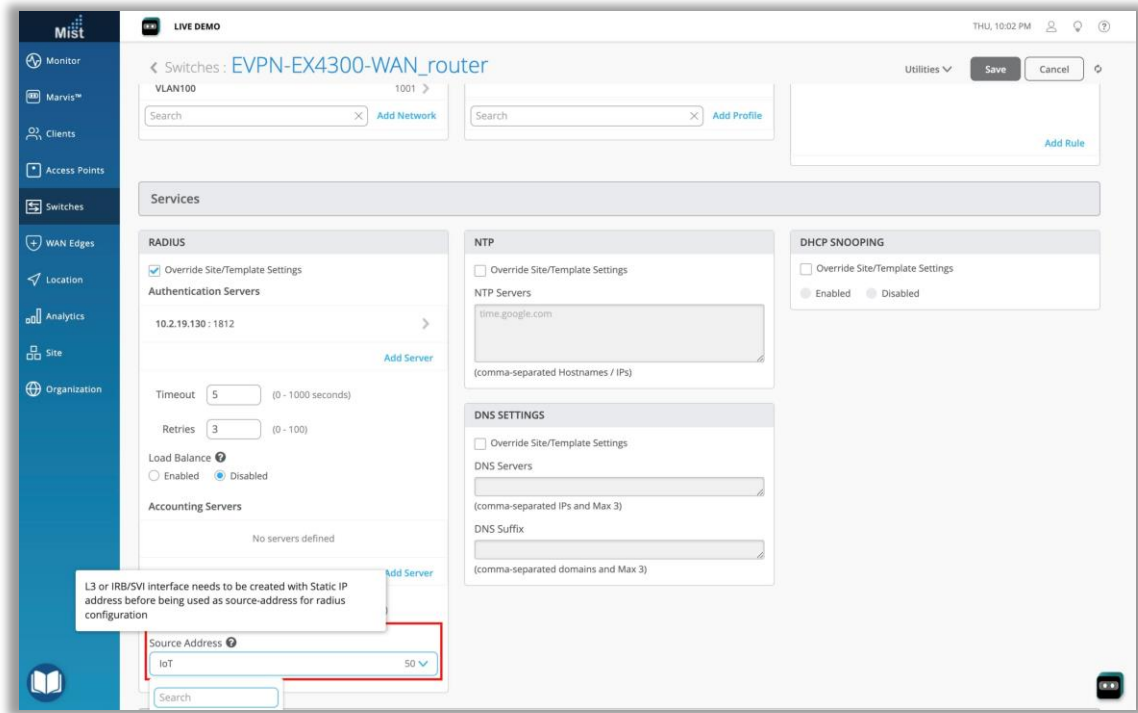
# APIリスト表示機能の拡張



- NetworkAnalyticsダッシュボードまたはMarvisQuery Language 検索を使用すると、APIリストの結果に、イーサネットポートの詳細、LLDP情報、無線帯域の詳細などの詳細情報が表示されるようになりました
- 本機能拡張により、サイトビューの[APIリスト]ページで提供されるのと同じレベルの詳細情報を使用して、Org全体のAPのリストを簡単に表示できます
- Network AnalyticsでAPIリストセクションを構成するときは、表示する情報のすべての列を選択してください

# Wired/WAN Assurance

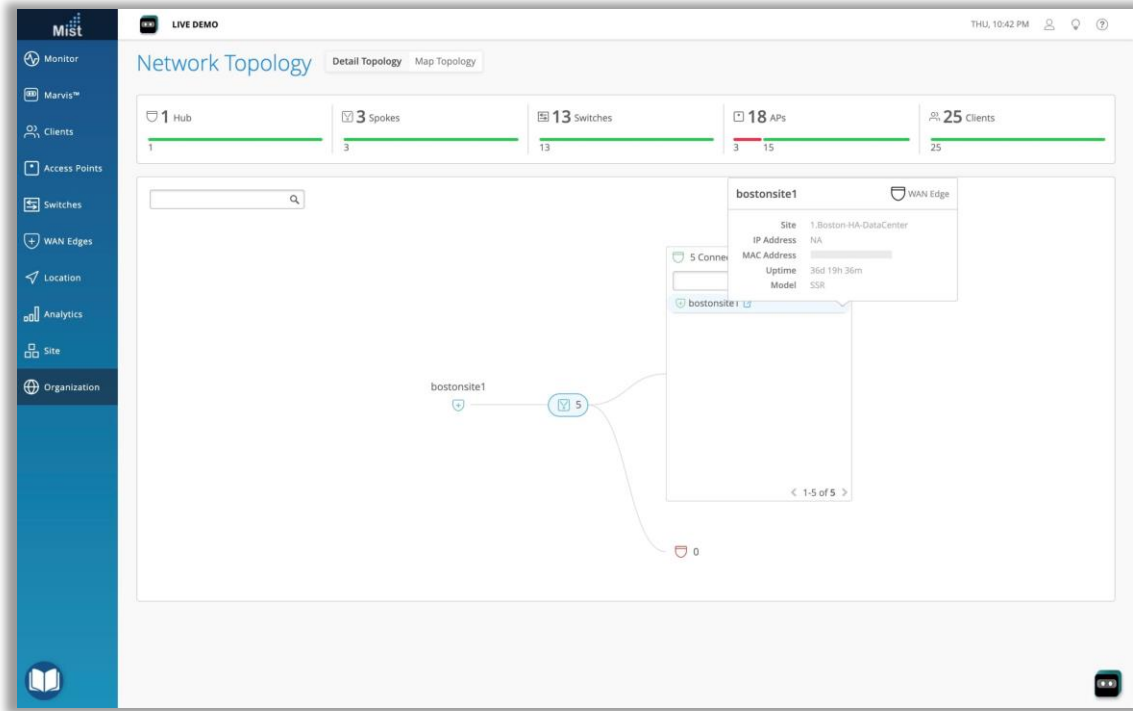
# Radiusサーバへの通信の送信元アドレスの指定



- 各Radiusリクエストで送信元アドレスを指定できるようになりました
- スタティックIPアドレスが割り振られたL3またはIRB/SVIインターフェイスが作成されている必要があります
- [Switch detail]→[RADIUS]セクションから送信元アドレスを選択します



# 組織レベルのネットワークトポロジ表示(SSRのみ)[ベータ版]



- 組織内の各サイトのフルスタックネットワークトポロジを可視化できるようになりました
- ネットワークトポロジには、HUB-SPOKEアーキテクチャを構成するWANエッジとスイッチおよびAPが含まれます
- 有線および無線のクライアントも、このネットワークトポロジビューから検索できます
- 注：このベータ機能は、SSRデバイスがクレームされているサイトでのみ使用できます

# WAN Edgeのログの送信

The screenshot shows the Mist Cloud interface for a site named 'bostonsite1'. The left sidebar contains navigation options: Monitor, Marvis™, Clients, Access Points, Switches, WAN Edges, Location, Analytics, Site, and Organization. The main content area displays 'WAN Edges : bostonsite1' with a 'Utilities' dropdown menu open, showing options for 'Reboot WAN Edge' and 'Send WAN Edge Log to Mist'. Below the menu, there are two sections for 'SSR' devices, each with a 'Control' panel and a 'WAN' section. The 'WAN' section shows a table of WAN Edge insights.

Node	MAC Address	Model	Hardware Model	Version	IP Address	Uptime	Last Seen
node1		SSR	VMware, Inc. - VMware Virtual Platform	5.5.0-43	NA	36d 19h 12m	10:17:30 PM, Jun 23
node1		SSR	VMware, Inc. - VMware Virtual Platform	5.5.0-43	NA	23d 16m	10:17:17 PM, Jun 23

- SSRデバイスからMistクラウドにTSIログを送信することができるようになりました
- APまたはスイッチからのログの送信と同様に、WANエッジログの送信は、[WAN Edge detail]ページの[ユーティリティ]ドロップダウンメニューを使用して実行できます

# Mist Edge

# WLAN RadSecアイドルタイムアウト

The screenshot shows the Mist Edge configuration interface for a WLAN. The left sidebar contains navigation options like Monitor, Marvis, Clients, Access Points, Switches, WAN Edges, Location, Analytics, Site, and Organization. The main content area is divided into several sections: WLAN Rate Limit, RadSec, 802.1X Web Redirect, Hotspot 2.0, Application QoS, Bonjour Gateway, and Co/DM Server. The RadSec section is currently selected, and the 'Idle Timeout' is set to 10 seconds, which is highlighted with a red box. The 'Mist Edge Proxy' option is also selected under RadSec.

- 以前は、RadSec対応WLANのアイドルタイムアウトを5～60秒の範囲で設定できるようになりました
- デフォルト値は60秒から10秒に変更されました
- RadSecアイドルタイムアウトは、現在のセッションが利用できなくなった場合にAPが次のMistEdgeRadSecプロキシサーバーを試行するのを待機する時間を制御します
- Mist Edgeプロキシを使用するWLANを設定するには、新しいWLANを作成し、EAP（802.1X）を有効にしてセキュリティオプションを選択し、次に[RadSec]ボックスで[Mist Edge Proxy]を選択します

# Radsec proxy構成時のRadiusパケット送信元アドレスの指定

The screenshot displays the Mist Edge Inventory configuration page for a cluster named 'LD-CLUSTER'. The page is divided into several sections:

- Name:** LD-CLUSTER
- Tunnel Termination Services:** Hostnames / IPs: 99.0.86.164
- RadSec Proxy:** Enabled (radio button selected)
- RADIUS Authentication Servers:** 47.196.216.197 : 4812 (primary)
- RADIUS Accounting Servers:** 47.196.216.197 : 4813 (primary)
- Multi Server Mode:** Load Balance (radio button selected), Tunnel IP as Source (checkbox checked)
- Upstream Resource Monitoring:** Enabled (radio button selected)
- Mist Edges:** LD-ME-CUP (0 Connections)

- Radiusパケットの送信元IPアドレスに、従来のOOBMの代わりに MistEdgeクラスターのトンネルIPを設定することができるようになりました
- Mist Edgeの詳細ページ ([Org]> [Mist Edge])に移動し、“Tunnel IP as Source”を有効にします

# Thank you

---

JUNIPER   
driven by Mist AI